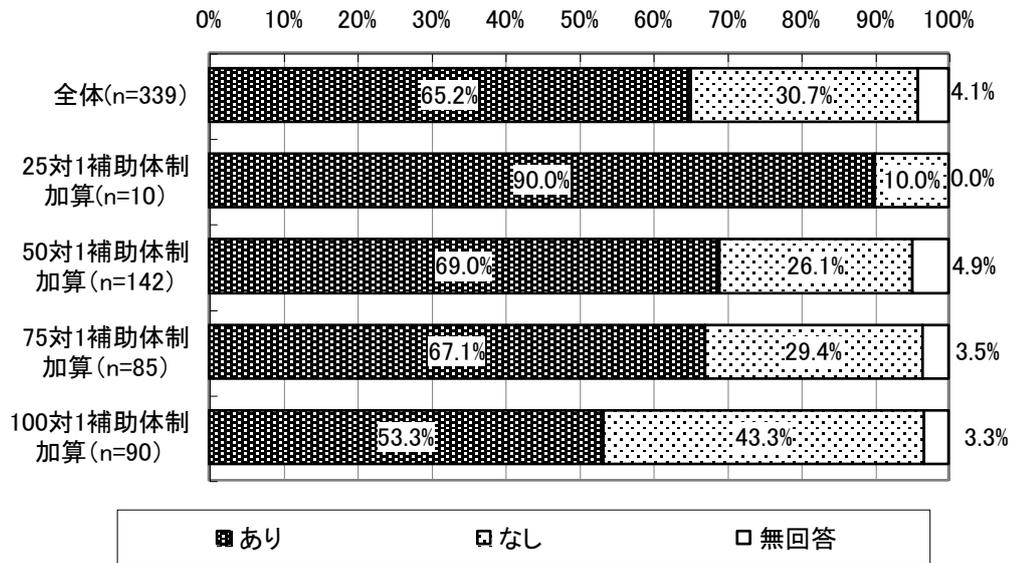


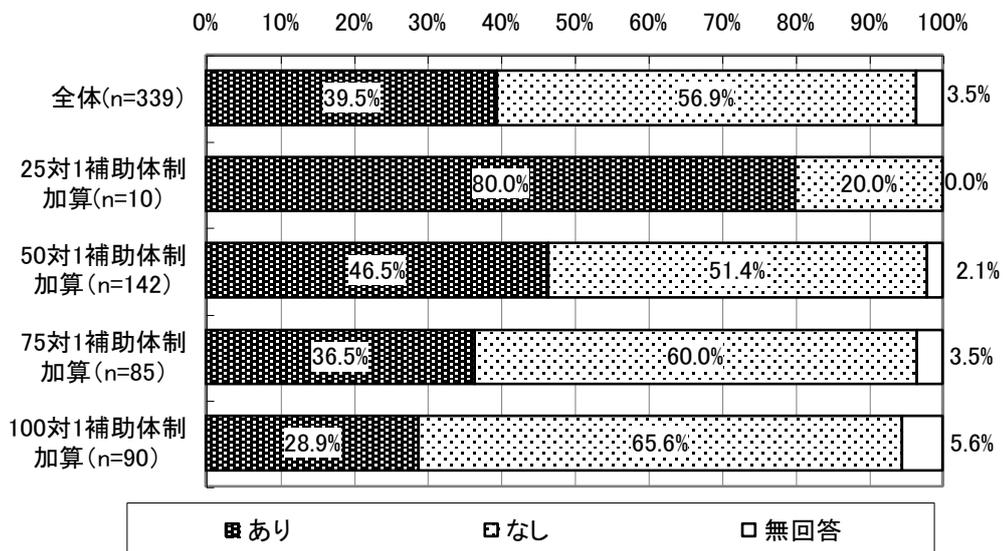
図表 75 医師事務作業補助者の従事状況

～③医療の質の向上に資する事務作業～



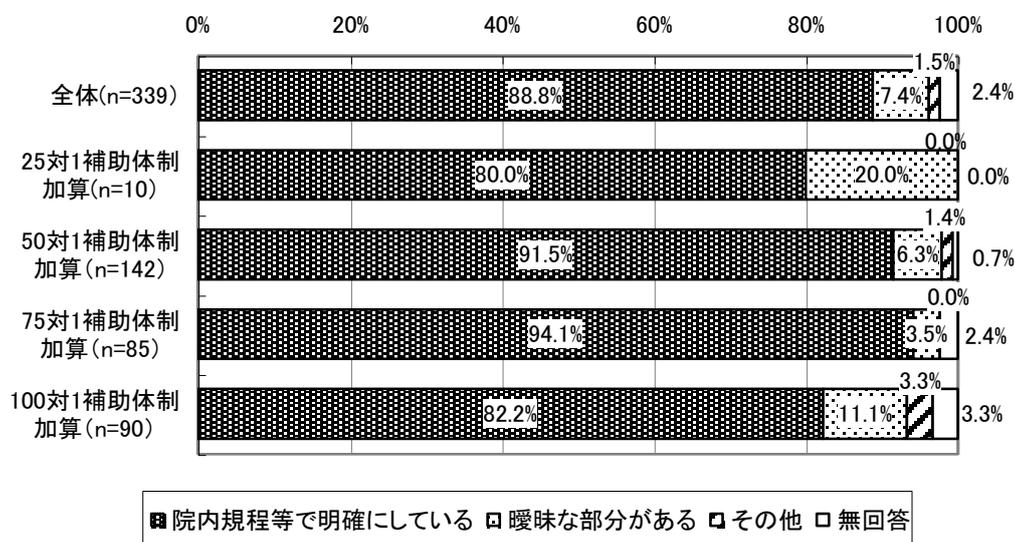
図表 1 医師事務作業補助者の従事状況

～④行政上の業務（救急医療情報システムへの入力等）～

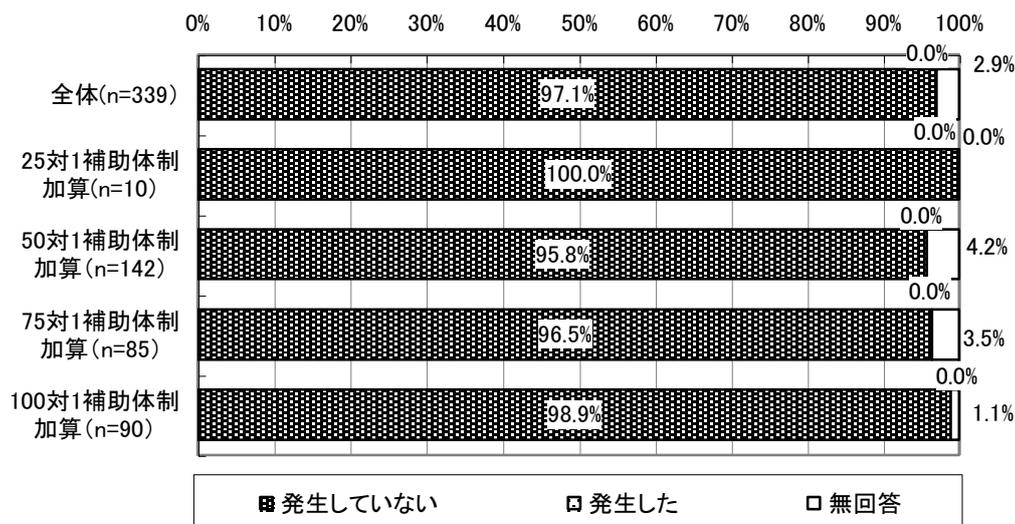


## 5 業務範囲の明確化、個人情報保護

図表 79 医師事務作業補助者の業務範囲の明確化



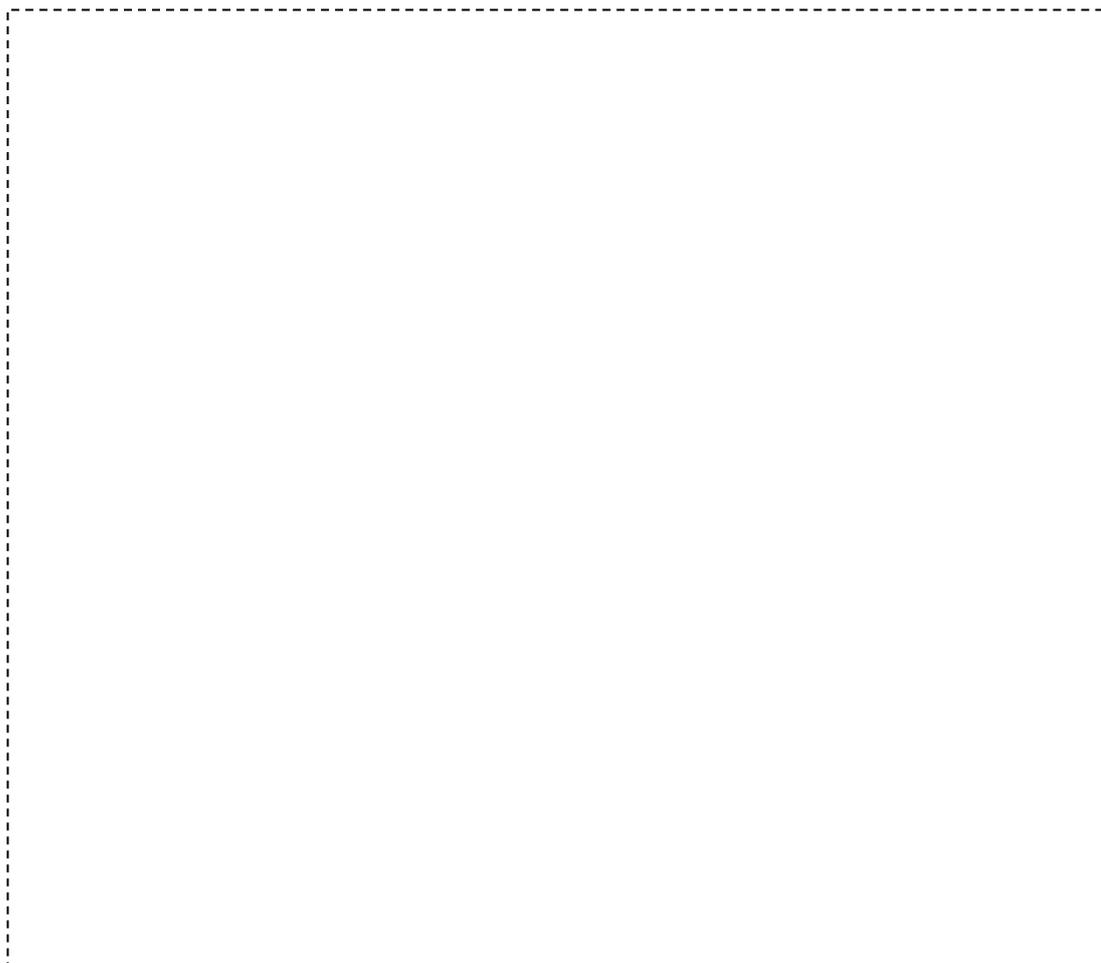
図表 80 個人情報保護上の問題発生の有無



### Ⅲ 議論

#### 【論点】

1. 地域の急性期医療を担う病院における病院勤務医負担軽減に資するものとなっているか。
2. 施設基準等の要件は妥当なものとなっているか。



#### 〔参考〕 検証部会における評価

検証部会において、実際に負担軽減策の一環として業務分担を進めている項目について、「診断書、診療録・処方せんの記載の補助」、「主治医意見書の記載の補助」等ある程度の効果が認められるものもある。特に後者の二つは多くの医師が負担だと感じている業務であり、それだけに業務分担の効果が大きく表れたと思われる。今後も引き続き更なる改善策の検討が必要だと考えられるとされた。

## 第4 ハイリスク分娩管理加算

### I 算定要件の概要

#### ハイリスク分娩管理加算(1日につき) 2,000点(改定前1,000点)

合併症等によりリスクの高い分娩を伴う妊産婦の入院について、平成18年度診療報酬改定において、ハイリスク分娩管理加算を新設し、診療報酬上の評価を行った。

さらに、平成20年度診療報酬改定において、勤務医の負担軽減につながるよう、勤務医の負担軽減のための計画作成を義務付けるとともに、評価の引き上げ、対象疾患の拡大を行った。

#### [対象者]

妊娠22週から32週未満の早産、40歳以上の初産婦、分娩前のBMIが35以上の初産婦、妊娠高血圧症候群重症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、双胎間輸血症候群、心疾患、糖尿病、特発性血小板減少性紫斑病、白血病、血友病、出血傾向及びHIV陽性等の妊産婦

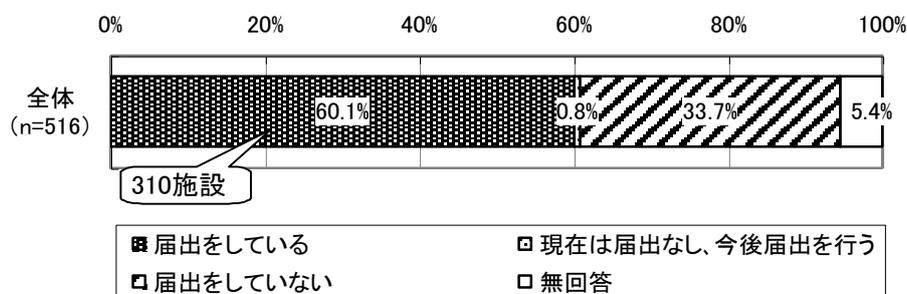
#### [施設基準等]

病院勤務医の負担の軽減に資する体制が整備されていること

## Ⅱ 要件ごとの分析

### 1 調査客体数

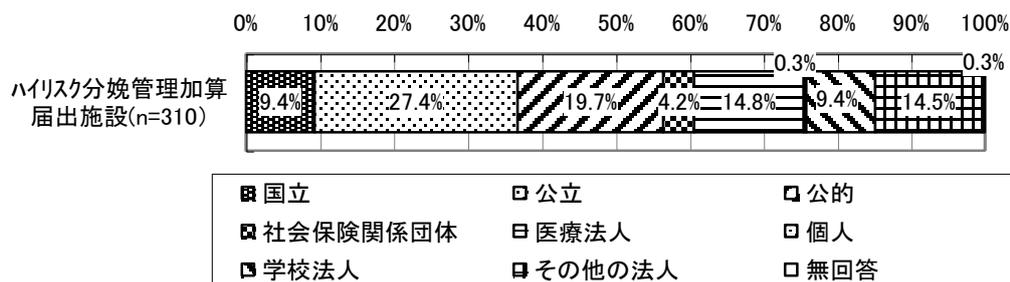
図表 81 ハイリスク分娩管理加算の届出状況



図表 3 施設基準届出状況別施設数（ハイリスク分娩管理加算届出施設）

|                                | 施設数 | 構成割合   |
|--------------------------------|-----|--------|
| すべての施設基準の届出あり                  | 49  | 15.8%  |
| (入院時医学管理加算＋ハイリスク分娩管理加算)届出あり    | 11  | 3.5%   |
| (医師事務作業補助体制加算＋ハイリスク分娩管理加算)届出あり | 86  | 27.7%  |
| ハイリスク分娩管理加算のみ届出あり              | 164 | 52.9%  |
| 合計                             | 310 | 100.0% |

図表 4 開設主体



## 2 分娩件数と算定回数

図表 83、84 分娩件数・ハイリスク分娩管理加算算定回数 (n=266)

|                 |              | 平均値  | 標準偏差 | 最大値   | 最小値 | 中央値  |
|-----------------|--------------|------|------|-------|-----|------|
| 分娩<br>件数<br>(件) | 平成 19 年 8 月  | 52.7 | 46.2 | 615.0 | 0.0 | 45.0 |
|                 | 平成 19 年 9 月  | 50.7 | 41.2 | 517.0 | 0.0 | 43.5 |
|                 | 平成 19 年 10 月 | 52.7 | 45.7 | 618.0 | 0.0 | 45.0 |
|                 | 平成 20 年 8 月  | 52.9 | 45.7 | 631.0 | 0.0 | 46.0 |
|                 | 平成 20 年 9 月  | 54.0 | 45.6 | 615.0 | 0.0 | 48.0 |
|                 | 平成 20 年 10 月 | 53.6 | 47.7 | 646.0 | 0.0 | 46.0 |
| 算定<br>回数<br>(回) | 平成 19 年 8 月  | 10.1 | 14.9 | 119.0 | 0.0 | 4.0  |
|                 | 平成 19 年 9 月  | 10.3 | 14.7 | 93.0  | 0.0 | 4.0  |
|                 | 平成 19 年 10 月 | 11.1 | 16.1 | 98.0  | 0.0 | 6.0  |
|                 | 平成 20 年 8 月  | 20.5 | 25.2 | 163.0 | 0.0 | 13.0 |
|                 | 平成 20 年 9 月  | 20.8 | 26.7 | 253.0 | 0.0 | 15.0 |
|                 | 平成 20 年 10 月 | 21.2 | 26.9 | 231.0 | 0.0 | 15.0 |

## 3 従事者数

図表 20 職員数(ハイリスク分娩管理加算届出施設、n=298、常勤換算)

|         |         | 平均値   | 標準偏差  | 最大値     | 最小値 | 中央値   |
|---------|---------|-------|-------|---------|-----|-------|
| 19<br>年 | 医師      | 136.8 | 133.4 | 806.6   | 3.8 | 93.7  |
|         | 看護師・保健師 | 372.1 | 221.2 | 1,072.0 | 1.0 | 358.2 |
| 10<br>月 | 助産師     | 20.1  | 15.3  | 181.6   | 0.0 | 17.3  |
|         | 准看護師    | 13.9  | 15.2  | 76.4    | 0.0 | 8.8   |
| 20<br>年 | 医師      | 141.8 | 138.3 | 799.6   | 3.8 | 97.5  |
|         | 看護師・保健師 | 386.6 | 229.9 | 1,074.1 | 1.0 | 371.9 |
| 10<br>月 | 助産師     | 21.6  | 16.3  | 198.6   | 0.0 | 18.9  |
|         | 准看護師    | 13.0  | 14.4  | 72.7    | 0.0 | 8.0   |

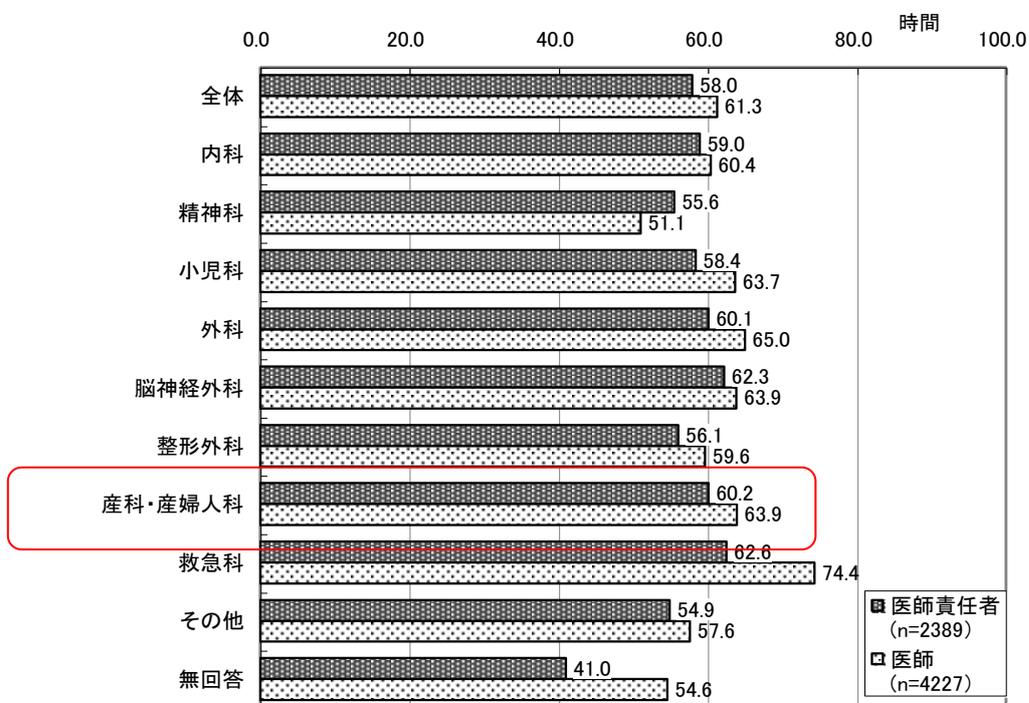
図表 29・30 産婦人科医師数（ハイリスク分娩管理加算届出施設）

|     |    | 平成19年10月 | 平成20年10月 |
|-----|----|----------|----------|
| 常勤  | 男性 | 4.4      | 4.6      |
|     | 女性 | 2.1      | 2.3      |
| 非常勤 | 男性 | 0.6      | 0.7      |
|     | 女性 | 0.6      | 0.6      |

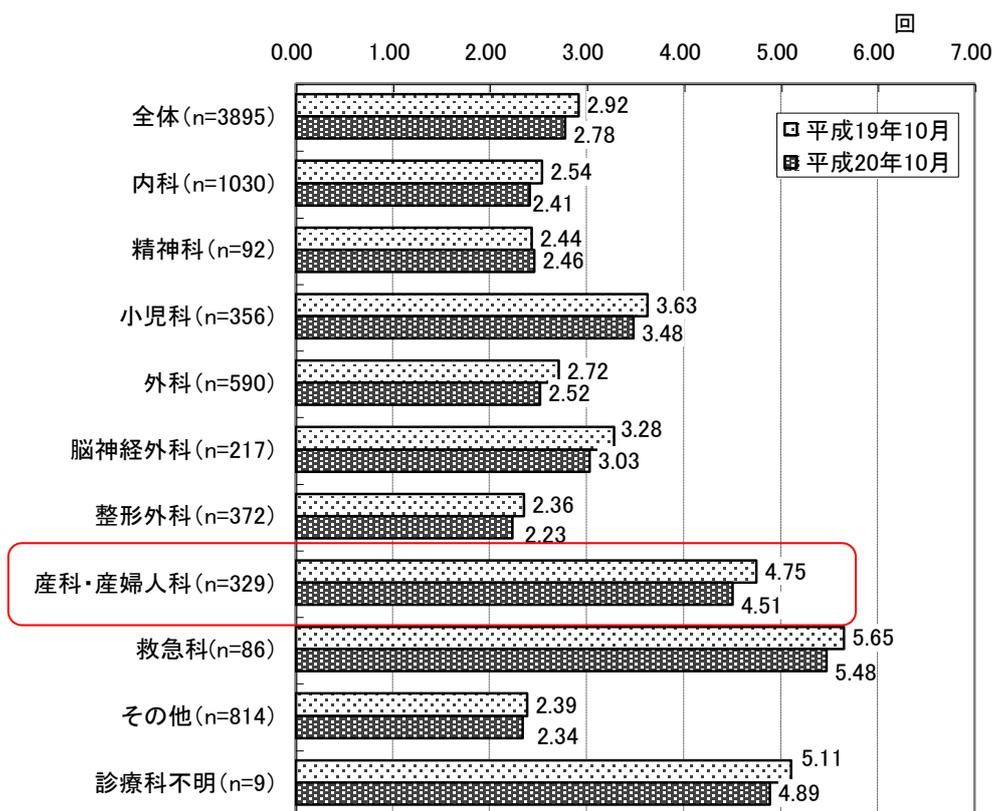
常勤 n=277、非常勤 n=193

#### 4 医師の勤務状況

図表 106 診療科別 直近1週間の実勤務時間(平均)(医師)



図表 110 1 か月あたり平均当直回数(医師)



## 5 勤務医負担軽減の取組み

図表 382 負担軽減策の取組み状況(施設基準届出別)

～①医師・看護師等の業務分担～

